

Weekly Report

(2013 年 8 月第 5 週)

光世証券株式会社

株式市場概況

● 先週（8/19 - 8/23）の動き

新興諸国の株価や通貨の下落を嫌気し、週半ばまで日経平均株価は弱く、円が買われる展開となった。しかし、水曜日の深夜に公表された 7 月 30、31 日の FOMC 議事録で「景気が予想通り回復するなら、年内に資産購入額を減少させる」とのバーナンキ議長の計画が参加者から支持されていたことや、中国や欧州の製造業の景況感が予想を上回ったことなどから円安、株高に転じた。結局、日経平均株価は前週末比+0.08%の 13,660 円と行って来いの展開になった。

セクター動向では上昇トップに不動産となった。これは上昇 3 位の建設と共に東京五輪の開催期待から上昇している。下落トップは電力ガスだった。福島第一原発で汚染水流出問題が起こったことが原因だ。また、輸送用機器、鉄鋼、海運など新興諸国の景気減速の影響が大きいセクターが下落上位に入った。

スタイルインデックスは、東証一部市場の規模別では前週に引き続きあまり大きな差はなかった。それ以外ではリート、マザーズの各指数の下落が目立つ。マザーズ構成銘柄ではバイオ関連が弱かった。

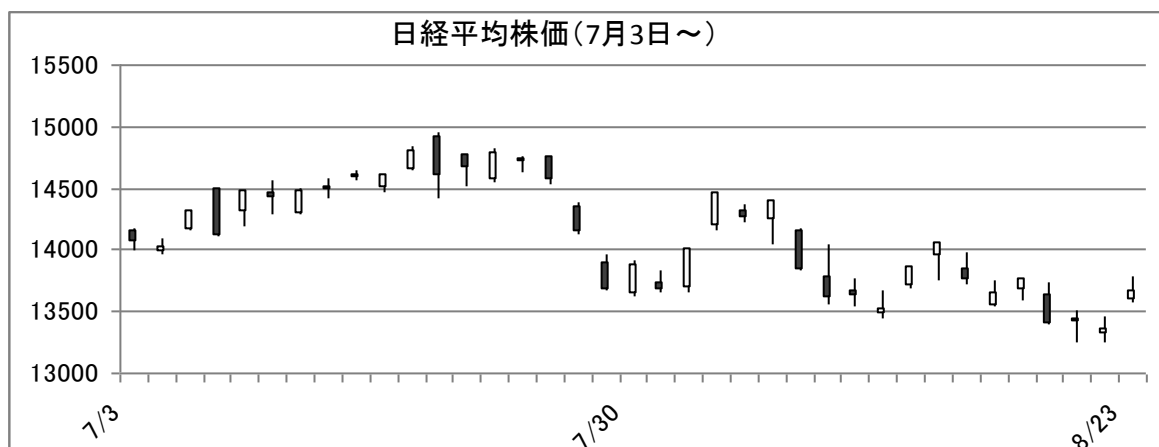
セクター動向(先週末比)				各種国内株式指数動向(先週末比)			
不動産業	2.88%	電気ガス	-5.21%	TOPIXスモール	0.09%	TOPIXバリュー	-0.20%
石油石炭	2.30%	水産農林	-2.74%	日経平均株価	0.08%	ミッド400	-0.23%
建設業	1.85%	海運	-2.22%	コア30	0.04%	東証2部	-0.44%
保険	1.69%	その他金融	-2.02%	TOPIXグロース	0.03%	マザーズ	-1.92%
金属製品	1.53%	輸送用機器	-1.70%	TOPIX	-0.09%	REIT指数	-2.46%
情報通信	1.40%	鉄鋼	-1.57%	TOPIXL70	-0.17%		

今後の注目材料

先週は FOMC 議事録、中国の PMI の二つの材料が株安、円高に向かっていた市場の流れを変えた。これらが長期的なトレンドを変化させたかという点、そうではなく、ここ最近のレンジ（日経平均 12,500 円から 15,000 円、ドル円 96 円から 100 円）を外れるようなものではないと思われる。

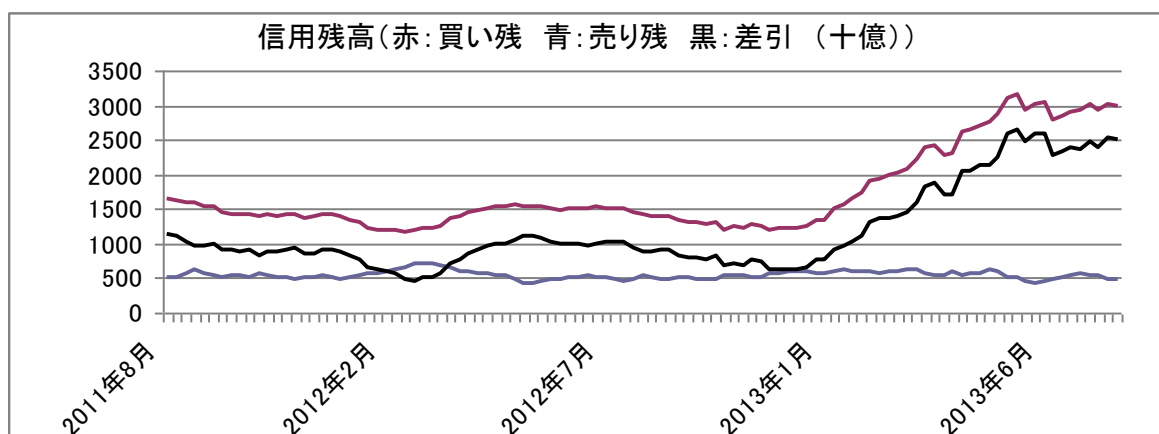
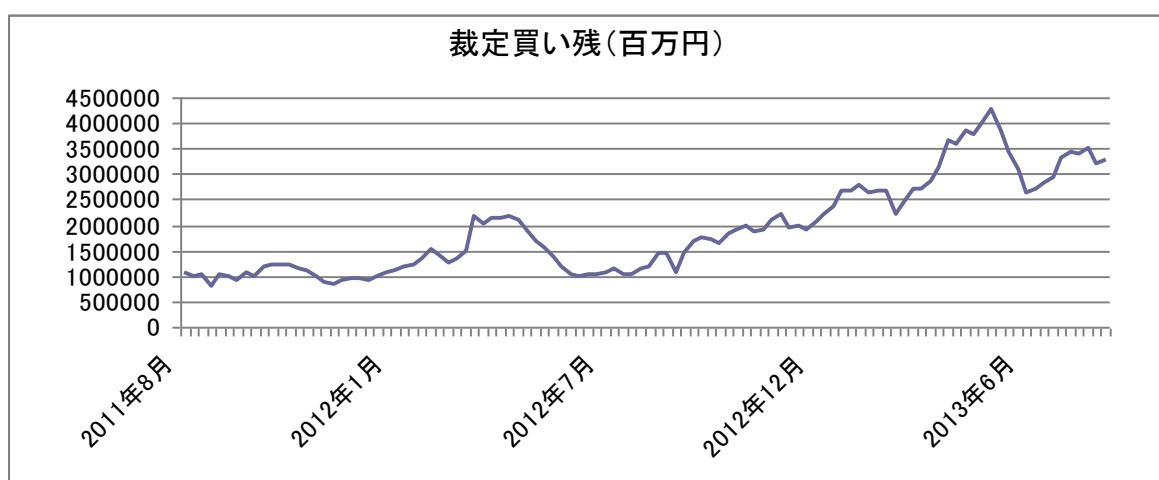
このレンジを抜けるきっかけとなるのは、9 月に行われる FOMC（9 月 17 日～18 日）や日本の消費増税を決める GDP の 2 次速報（9 月 9 日）だろう。その前後の大きな方向性が出る場面でポジションを作りたい。

それまでは日経平均の入れ替えや TOPIX の採用、および、先週も盛り上がっていた五輪関連銘柄のようなイベントドリブンを扱うのが良いだろう。安倍首相の夏休みが終了し、政策に関する報道が再び見られるようになったが、期待感の剥落を表してか、物色が長続きしない。これらも 9 月中旬以降には動き始めると見られる。



需給動向（前週分）

投資主体別売買動向では投信、事業法人の買いが継続。海外投資家は4週ぶりに買い越しに転じた。個人と信託銀行は売り越しとなった。信用買い残高は微減、裁定買い残高は増加した。



	自己	委託	投資信託	事業法人	信託銀行	個人	海外投資家
2013/8/16	-80.30	111.69	35.57	26.85	-3.26	-45.07	99.60
2013/8/9	-212.62	227.50	40.78	60.96	18.47	197.14	-101.02
2013/8/2	-72.99	93.13	98.84	33.15	88.82	-116.92	-20.47
2013/7/26	17.15	-8.30	10.56	4.28	-71.59	84.71	-50.98
2013/7/19	207.71	-200.03	-17.35	81.47	-58.43	-324.43	251.39
2013/7/12	27.22	-16.78	-23.33	-18.13	-83.89	-215.41	332.13
2013/7/5	-17.46	19.80	10.52	-12.16	-38.82	-322.40	430.06

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号
加入協会／日本証券業協会